



2025. 1. 1

1月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
西神戸YMCA幼稚園

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を、ご家族お揃いで迎えられたことと思います。

昨年のクリスマスは、多くの方々と共に神の子イエス・キリストのご降誕をお祝いすることが出来て嬉しく思いました。ご来園いただきましてありがとうございました。

冬休みに入ってから幼稚園では「未就園児のクリスマスの集まり」や「プレイクラブクリスマスお楽しみ会」、12月25日（水）には1年生から6年生までの卒園生の「クリスマス同園会」がありクリスマス当日までクリスマスの喜びを園児と保護者の皆様、未就園児、小学生と多くの人と分かち合うことができました。

特に「クリスマス同園会」はコロナ禍には開催できず昨年度4年ぶりに開催し、当時の4年生においては卒園後初めての「同園会」でした。そして今年度は幼稚園創立以来初めて、1年生から6年生を招いての「同園会」を開催しました。予想を超える参加数で県外、遠くは岐阜から参加した卒園生もいて、この日を楽しみにしてくれていたことがわかりました。正門で子どもたちを出迎えた時は緊張気味な表情もありましたが、園内に入るとたちまち感覚が蘇るのか？空気が変わるのか？小学校や学年に関わらず交わり合っただけで園庭を元気に駆け回る姿がありました。幼稚園で定番の「片付けの音楽」を流すと一斉にお片付けを始め速やかに保育室に入っていく姿が自然過ぎました。

全体では礼拝の時を持ちアドヴェントクランツのロウソクに火を灯し「クリスマス物語」に耳を傾け「きよしこの夜」を歌いお祈りを献げました。大きく成長した卒園児がロウソクの灯火の下で祈る姿には感動を覚えました。祝会では「クリスマス物語クイズ」「クリスマスじゃんけん」「クリスマスソング」を楽しみましたが、時を越えてひとつとなり楽しく喜びに満たされました。

これから幾度もクリスマスを過ごすがと思いますが、街にはイルミネーションが輝き、華やかな歳末の時に心の片隅に幼稚園でロウソクの灯火を見つめながら平和を祈り、お祝いしたクリスマスを感じていてくれたら...と思いました。私たちは多くの幸せなひと時をクリスマスの贈り物としていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

能登地震から1年。阪神淡路大震災からは30年の月日が経ちました。コロナ禍もあり社会から断絶された生活も経験しました。当たり前の生活は当たり前ではなく、今のこの時を感謝して歩んでいきたいと思っています。

今年は巳年です。蛇は脱皮を繰り返して成長します。私たちもあらゆる変化に対応しながら逞しく成長していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【年主題】 『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】 「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書 14 章 6 節）

1月主題 「なかまとひびきあって」

聖 句 「受けるよりも与えるほうが幸いである。」（使徒言行録 20 章 35 節）